

10月16日開催

令和の議会は住民とともに

多可町で開催された兵庫県町議会議長会主催の議員研究会に参加した。「議会政治を、明るく、楽しく、みんなで」と題して、新潟県立大学准教授の田口一博氏の講演を受けた。

また、田口氏をコーディネーターとして、神戸新聞社記者をはじめ議員4名をパネリストに迎え、議員に立候補するきっかけや、それぞれの思いなどについて話し合った。播磨町からは、議員1名がパネリストとして参加し、議員としての現在の思いや経験を率直に議論した。



▲活発な議員活動を目指して研修

正副委員長研修会に参加

11月28日開催

町村議会における委員会運営のあり方

兵庫県町議会議長会主催の正副委員長研修会が、神戸市で開催された。正副議長、議会運営委員会、総務建設および厚生教育常任委員会の正副委員長が参加し、(株)地方議会総合研究所代表取締役の廣



▲充実した議会審議に向けて研修

瀬和彦氏の講義を受講した。

全国の市町村における委員会運営のさまざまな事例の紹介や運営手法について、関係法令を交えて説明があった。今後の委員会運営における課題を確認することができた。

県立播磨南高校の生徒を迎え 播磨町の未来を語り合う

12月24日開催

播磨南高校生14名と議員が、播磨町のまちづくりについて意見交換を行った。

生徒は4つのグループに分かれ、議場演壇でまちづくりに関する提言スピーチを行った。その後、提案した内容

や、町政に対する意見などについて議員と話し合った。高校生ならではの意見を聞くことができ、今後の町政に対する提案などの参考になった。(詳しくは次号に掲載します。)



▲播磨町の未来を語る高校生

14人の議員が2班に分かれ、8月臨時会、9月定例会・決算特別委員会における平成30年度決算の審議内容や結果に至った経緯などを報告しました。参加者からは議案や町行政に対する幅広い質疑がありました。また、多くの意見・提言をいただき、今後も住民の声を議会活動に活かしたいと思っています。報告会での質疑と意見・提言の一部を紹介します。(詳しくは議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。)

安全安心

児童の登校時、グリーンプルトで左側通行や横断などの時に、かえって危険なところがある。

道路幅などの関係で、設置できる場所とできない場所があり、統一するのは難しいが、ドライバーへの注意喚起の意味もある。

財政

決算の歳出で総務費が16億円増加した原因は、

公共施設の改修に多額の費用がかかるため、財政調整基金から公共施設整備基金に約16億円を移し総務費に計上したからである。

町税が減っているのは、人口が減っている

公共施設

望海公園のパーキング施設は、なぜ3年もかかって工事をしていないのか。

補助金を使って工事を行うため3年計画で実施している。現在、健康遊具やベンチなど、一部は利用可能である。

播磨ふれあいの家

播磨ふれあいの家が来年でなくなる。その処理に関する負担や行政サービスはどう変化するのか。

指定管理者制度をとっており、来年春に期限が終わり、町の施設として残すことはない。

その他

コンビニやコミセンに設置されているAEDは24時間使用できるのか。

コンビニについては24時間使用可能である。コミセンについては開館時間のみ使用可能である。その他公共施設などにも設置している。24時間使用できる施設のマップを示す必要があると考える。

ごみの広域処理について、播磨町で焼却は行わなくなるのか。負担が増えることはないのか。

町内で焼却は行わない。現在のごみ処理施設敷地内に中継施設を建設し高砂市へ運ぶ予定

意見・提言

現在のいろいろな方法を検討している。広域化により年間の財政負担は減少する見込みである。

今の自主防災の体制では、実効性に疑問がある。町、議会、住民も災害に対する意識が低くなっていると思う。自主防災同士の連携が必要では。

自主防災の補助金を2、3年分たためて、活用できるようにしてほしい。

町内では、ゆうあい園のような施設が少ない。もっと力を入れてほしい。▼管理職と、一般職員でチーム編成し、地域に向いて住民の意見を聴く懇談会を行ってほしい。

総合体育館に入りまする車が危ない。播磨大橋手前付近にカメラを付けるなどの対応を。

民生委員選定については、自治会長に任されても困る。引き受けてくれる人がいない場合は、自分ならざるを得ない。

町内では、ゆうあい園のような施設が少ない。もっと力を入れてほしい。



議会報告会(議会と語り合う)を11月8日(金)、9日(土)にそれぞれ町内4カ所のコミュニティセンターで開催しました。ご参加いただきました住民の皆さま、誠にありがとうございました。

▲東部コミュニティセンター